



◎ 恒星

自ら光を出している天体。例：太陽、星座をつくる星々

◎ 惑星

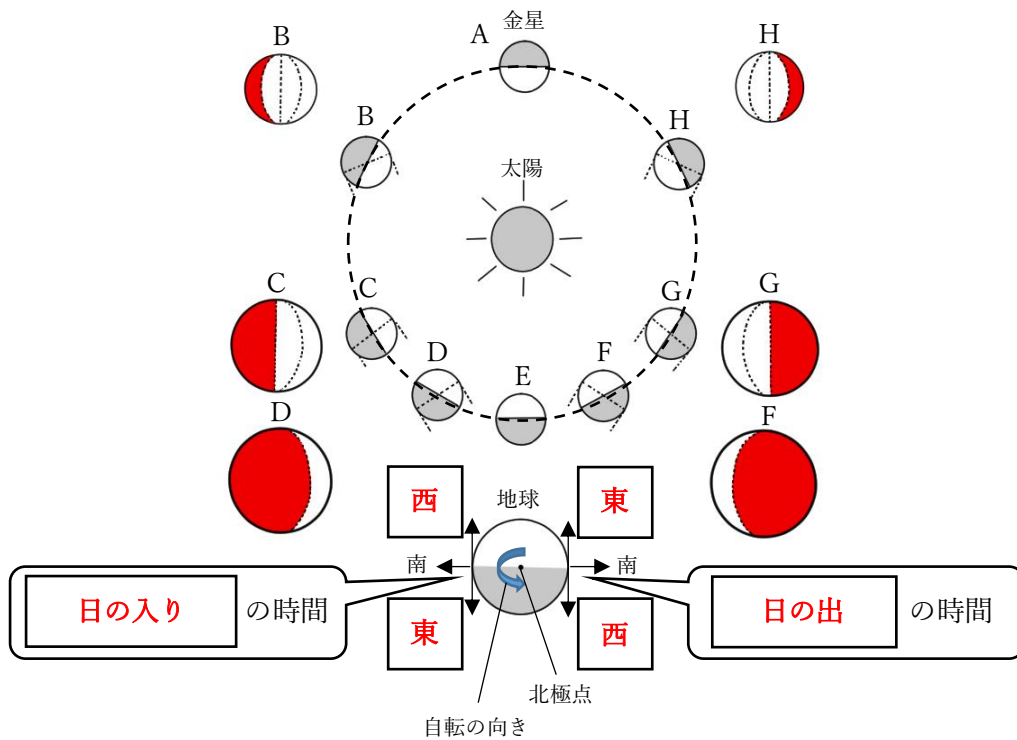
自ら光を出さず、恒星のまわりを公転する天体。例：地球、金星

◎金星の見え方

金星は、**満ち欠け** することから、惑星だと分かる。また地球から見て金星の大きさが変化して見えるのは、地球と金星の **距離** が変化するからである。

以下の図は、太陽、地球、金星の位置関係を表したものである。

金星 B~D、F~H において、地球から見たとき、太陽が当たっている部分を塗りつぶしてください。



図のように、金星は **真夜中** には見る事ができない。これは金星が地球よりも **内** 側を公転しているからである。

金星が B~D の位置にあるとき、地球からは **日の入り** ごろに **西** の空に見える。一方、金星が F~H の位置にあるとき、地球からは **日の出** ごろに **東** の空に見える。

金星が **A** と **E** の位置にあるとき、地球から金星は見えない。